

No. 6

3月号

令和5年
2023・2・20



日立市視聴覚センター通信

みて、きいて、学びを楽しく

みきまた

編集・発行
日立市視聴覚センター
〒317-0073
日立市幸町1-21-1
電話：0294-24-5055
FAX：0294-24-5066

お礼 ウィズコロナ・徐々に復活の兆しが 館長 赤津光司

コロナ禍であっても、皆様のご支援、ご協力により本センターとしての使命を果たせたことに、改めて感謝申し上げます。感染拡大により、令和2年度は利用が一気に50件と激減しましたが、現在徐々に回復しつつあります。

視聴覚教材では、DVD教材が最も多く(一般・7割)利用されています。機材としては、利用の9割が交流センター等の社会教育機関での上映会で、特にプロジェクター利用が全体の3割を占めています。教材・機材を利用したイベントが復活する中で、地域の文化力の向上をうかがうことができます。

終息までまだ時間を要すると思いますが、来年度もまた、ご支援のほどよろしく願いいたします。

防災教育ベスト3・11

特集

「みて、きいて、イメージする力を豊かに」

12年前の東日本大震災を知らない子どもたちが増えてきました。

平成23年(2011)3月11日午後2時46分、宮城県沖を震源とするマグニチュード9.0の巨大地震が、東日本を広域に襲い、特に津波等による被害は甚大で約2万人の犠牲者を出しました。さらに今回の災害は、福島第一原子力発電所の事故による原子力災害という今世紀最大の複合災害を引き起こしました。

本市では、久慈をはじめ南北につなが

る全ての港町が押し寄せた津波にのまれ破壊されました。

今回の学校災害では、「釜石の奇跡」とは対照的に「石巻の惨劇」(大川小学校の児童・教職員の7割が犠牲)は深刻です。震災前から釜石の学校は、「想定を信じるな」等3原則を信条にして「高台に素早く逃げる文化」を築き上げてきました。

今年には関東大震災から100年。「災害は忘れたころにやってくる」と言います。

日本列島が火山活動期にある現在、南海トラフ巨大地震が危惧されています。今ではメディアに取り上げられる機会も減り、当時の記憶が薄らいできている中で、学校や地域での効果的な防災教育として、視聴覚教材を生かした学びが最適です。

心身をバイアスから解放し想像力を豊かにし命を守るために、自分で観て聴いて、地震のメカニズムを知り、毎年想定を変えて体にしみこむまでの逃げる訓練が重要です。

今回、「防災教育」オススメ教材ベスト3を紹介します。

1 ボクはすぐ逃げたんだ 東日本大震災から学んだこと

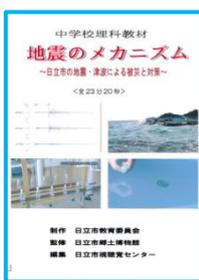
2012年 14分



奇跡の一本松の語りで分かりやすく学べるアニメ作品。特に、震災前から釜石の防災教育に従事した群馬大学片田教授が監修。科学的な見地から避難行動のあり方までの防災作品

2 地震のメカニズム 日立市の地震・津波による被災と対策

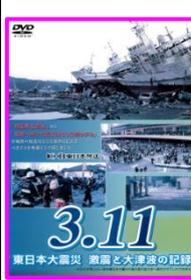
2013年 24分



モデル実験から地震や津波のメカニズムを科学的に深堀しながら、日立市の被災状況を読み解き、命を守りぬくための防災訓練へと導く、市教育委員会が制作した防災作品

3 3・11 東日本大震災 激震と大津波の記録

2011年 80分



犠牲者約1万人という国内最多の宮城県の震災状況を地元の東日本放送が情報力と高い使命感で、最悪の被災状況を分析し、震災後50日間復興への歩みをリアルに記録した作品

こどもしょくどう

第44回日本カトリック映画賞授賞作品

公開：平成31年(2019)

時間：93分 貸出番号：1201294

「子ども食堂」は、子どもを貧困から救うために、平成24年頃から注目されるようになった社会活動です。この映画は育児放棄など様々な家庭の事情を抱える子どもたちによる交流の中で、子ども食堂が必要とされる現代社会を子どもの視点から描いた感動作品です。

監督：日向寺太郎

脚本：足立紳・山口智之 原作：足立紳

出演者：藤本哉太・鈴木梨央・常盤貴子

・吉岡秀隆・浅川蓮・古川凜・田中千空

・降谷建志・石田ひかり

今月の
オススメ
後藤

